

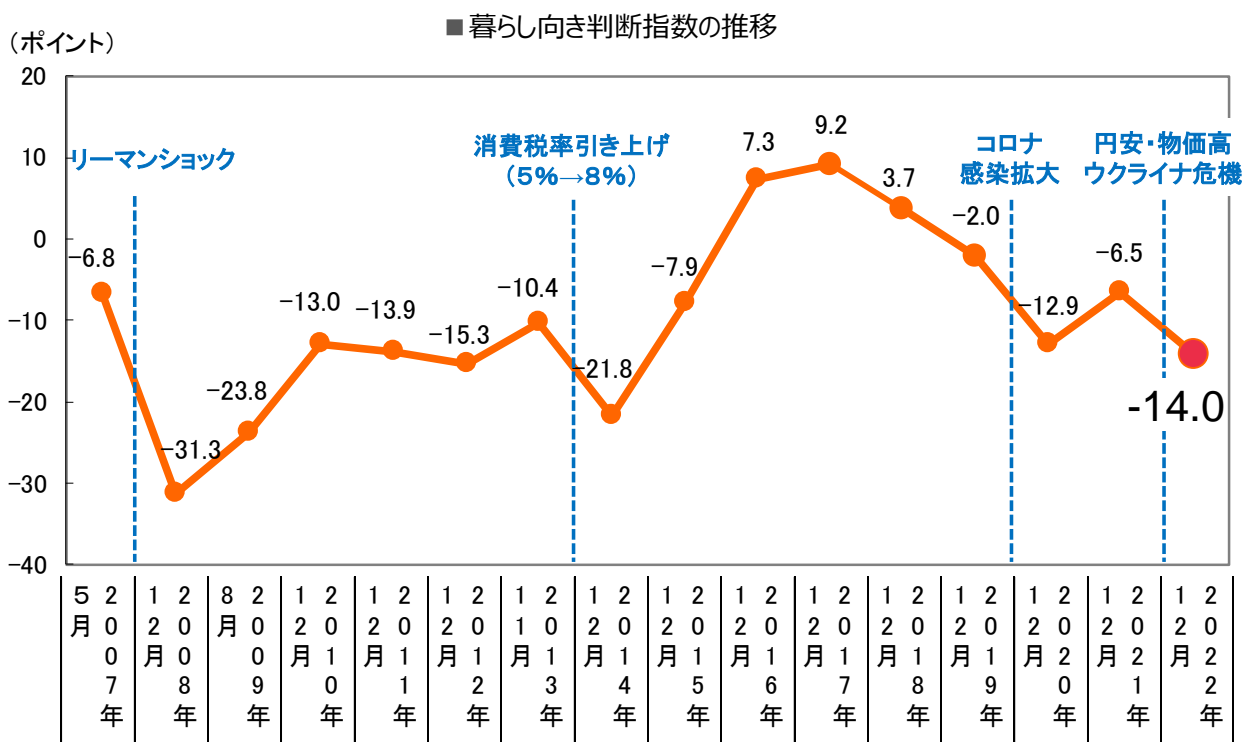
～福岡県居住者の「暮らし向き」に関する調査結果を速報！～

生活者の暮らし向きは コロナ直後よりも悪化し 過去10年で二番目の低さを記録

35年にわたり福岡・九州の消費動向を調査・研究している株式会社ジーコム（本社：福岡県福岡市 代表取締役：神崎依子）は、このたび「暮らし向き」に関する調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

毎年定点で観測している福岡県居住者の「暮らし向き判断指数」と2023年の景気予想について、速報で結果をお知らせいたします。この調査は、福岡県内に居住する20歳以上の男女を対象に、現在の暮らし向きの状況や暮らし向き変化の理由、2023年の暮らし向きの予想などについて尋ねています。

- 1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかというようになった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は－14.0ポイント。コロナの影響を大きく受けた2020年よりもさらに悪化した。
- 年代別では、20・30代はプラスだが、40代以上はマイナスに転じ年代が上がるにつれて低くなっている。特に50代、60代以上が昨年と比べて減少幅が大きい。
- 世帯年収別では、700万円未満層はマイナス10ポイント以下であり、昨年からの減少幅も顕著である。



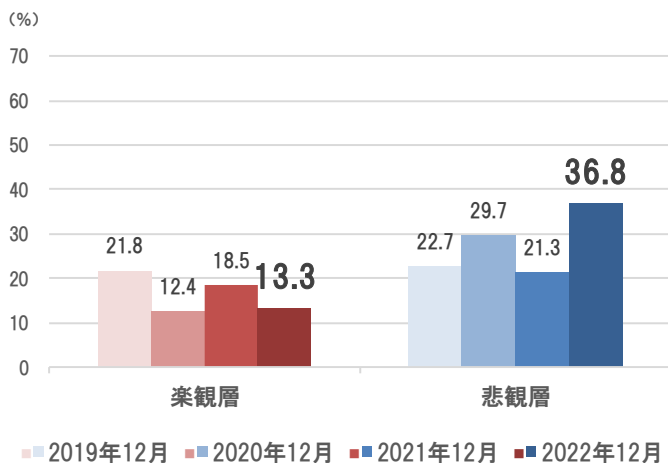
*暮らし向き判断指数とは、1年前と比較して暮らし向きが「良くなった」「どちらかというようになった」と回答した「肯定層」の割合から「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した「否定層」の割合を減じた値

2023年の世の中の景気について、楽観層は直近4年間で最低。

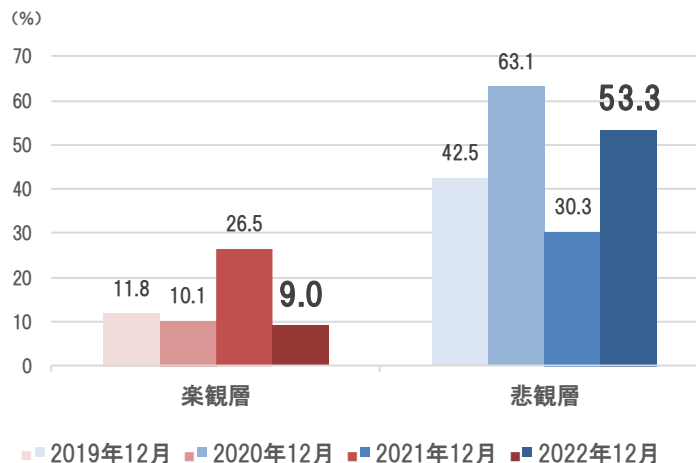
- 2023年の「自分自身の暮らし向き」と「世の中の景気」について、良くなるか悪くなるかそれぞれの予想を回答してもらったところ、「悪くなる」「どちらかという悪くなる」と回答した悲観層は、どちらも昨年より大幅に増加し、特に「世の中の景気」については、20ポイント以上増加して半数以上が悲観層となった。一方、楽観層は直近4年で過去最少の9.0ポイントである。
- 「世の中の景気」は性や年代別に見ても大きな差はなく、一般的に悲観層の割合が高い。一方、「自分自身の暮らし向き」の悲観層は60代以上で他の年代より高い結果となった。

■ 2023年の自分の暮らし向きと世の中の景気予想【単一回答】

自分自身の暮らし向き



世の中の景気



* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかという良くなる」、悲観層＝「悪くなる」「どちらかという悪くなる」

■ 本調査の概要

調査方法 インターネット調査
調査対象 福岡県在住の20歳以上の男女
調査規模 400サンプル
調査時期 2022年12月16日（金）～12月23日（金）



詳しい調査データは1/16公開。詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

■ 会社概要

■ 会社名 株式会社ジーコム
■ 設立 1989年4月
■ 所在地 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F
■ 事業 マーケティング・リサーチ&ビジネス・コンサルティング
■ URL <https://www.gcom-net.co.jp/>

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社ジーコム（担当：有江）
TEL：092-761-0221 FAX：092-761-0228 E-mail：arie@gcom-net.co.jp
※調査データの転載・引用等をご希望の方はお問い合わせください。

九州・福岡でマーケティングを30余年。
ジーコムは、マーケティング・リサーチとビジネス・コンサルティングの専門会社です。